

# 定通振興会報

長野県松本筑摩高等学校

定通振興会報

平成28(2016)年

2月25日発行 第46号

## 学校と子ども達、そして振興会

会長 鳥羽 雅代

月日のたつのは早いもので、下の娘が筑摩高校へ入学して10カ月、もうすぐ2年生になります。おはずかしい話、中学生の頃はあれほど学校をいやがり、クラスにも入れなかった娘が、なんと高校へ、筑摩高校に入学してから、1日も休まず通っています。今では楽しくてしかたないみたいです。まるで嘘のようです。娘にとって、すばらしい場所が見つかったのだと思います。子どもにとって良い場所はいくつかあると思います。もちろんいちばんは家庭でなければなりません。そして友だちがいる学校。子どもにいちばん良い場所は大人がつくってあげる事、そして子どもにとって本当にそれがいい場所なのか考えてやるのも大人、親であり先生方、学校なんです。私も役員を通して、他の学校の会長、先生方とお話ししてきました。それぞれ悩みはあります。しかしそれを1つ1つ話し合い解決していかなければ前に進めません。今考えて、私は出来ていたのかな？と考える時があります。中学校で会長をやらせていただいた時、本当はもっと子ども達をたすけてあげられた事もあったのではと、今すごく自分自身反省しております。かなり前の話ですが。そして今、筑摩高校で会長をやらせていただき、何よりも子どもの為、そして学校の為に考え悩んでおります。幸いに、副会長が、しっかりした方なので、助けていただきながら、又校長先生をはじめ先生方に助けていただき、ありがたく思っております。小、中学校でも皆さんいやな思いをしたかと思いますが役員を選出する事。どうやってにげたらいいか、役員をやらずにすむのか…とっていたかと思っております。今は仕事をしていない人はいません。仕事しながら役員をやっています。役員をやっていなければ、目の前にいる人、そしてその廻りの人しか見えない。でも今の私には、市内はもちろん、県内、県外の人とも話をする事が出来て、悩みなどを相談できます。これは私にとって宝だと思います。

28年度、いよいよ、委員会を立ち上げます。1人でも多くの方に参加してもらいたい、1人でも多くの方の話を聞きたいと思っております。もし参加したい方は、先生を通して私に連絡をいただけたらと思っています。どうせやるなら楽しくやろうが私のテーマです。子ども達の為に、そして今以上に筑摩高校がよくなる為に、私もがんばります。皆さんもお力をかけて下さい。



## 話をしたり聴いてもらったり できる場に

学校長 今井 秀幸

本年度鳥羽会長のリーダーシップのもと、くれき野祭へ向けて振興会会員の皆さんによる校舎施設環境整備事業が8月22日に行われました。私自身は別の会議のため残念ながら参加できなかったのですが、60人余の皆さんにご参加いただき、午前部午後部の生徒昇降口付近の清掃や第1棟南側の植栽の刈込などをしていただきました。暑い中の作業となり本当にありがとうございました。

後日教頭や係の先生からそのようすの報告を受けたのですが、皆さん自身が作業を楽しんでいる雰囲気があり和気藹々としてよかったというものでした。PTA作業というと義務感に駆られてするものと思われがちですが、そうではなかったということで私もうれしく思いました。

また、くれき野祭当日には振興会の皆さまによる焼きそばの製作販売をしていただきました。こちらは私自身も焼きそばの購入を兼ねながらようすを拝見したのですが、こちらに参加した方々もイキイキと楽しそうで、中には「本当に、楽しいです」「来年もぜひやりたいです」とお声掛けくださる方がいて私自身もよかったなあと思いました。

どちらの行事にしても役員のみなさんの段取りや声掛けがよかったのと、参加した皆さんも積極的にかかわろうとされていたのが好結果をもたらしたと思いました。それに加えて、ある会員の方がこんなことをおっしゃっていたのが耳に残りました。「中学時代は子どもが学校に行っていなかったから、私もこういう行事に参加できなかったのよね」。胸を突かれました。

その会員の方はきっとお子さんが学校へ行けなかったばかりにご自身も遠慮されて学校や他の会員とかかわることができなかったのでしょうか。その方自身もつながりを求めていたのだと思います。

まず行事ありきではまずいと思いますが、会員の皆さんがこんな機会に緩いネットワークを広げて行っていただき、お互いを支え合うものとしていただけるならありがたいなあと思っています。

## 基本的な部分を大切に

通信制課程教頭 藤澤 由夏

『ジェネリックスキル』、『アクティヴラーニングによる主体的学び』、『21世紀型学力』、『ハイパーメリトクラシー』、『ネットワーク形成力』—これらを目や耳にすることが多くなりました。いずれも現代を生きぬくための力に関係することばです。新しい力が求められる感がありますが、表現に惑わされる必要はありません。いつの時代も、求められる力は基本的な部分では変わりません。人は5つの力—①人の心の痛みを感じ、②状況変化に対応し、③複数事項を併行処理し、④「知識・知恵」を活用し、⑤人の話を鵜呑みにせず、目標に向けて一貫した姿勢をもつ力—を備えるべきだといわれます。これらは人と関わりながら暮らすうちに身に付くもので、「知・情・意の総合力」と呼ばれます。アプローチは異なっても、家庭・学校・地域が大切なことを繰り返し伝え続けることで自然に身につくはずのものばかりですが、それがうまくいかなくなっているようです。

数年前から、「若者の現状を分析し、たくましく成長させるための支援方法を考える」シンポジウムに参加していますが、高・大・産業界・各省市等々の次世代育成に関与する人々の共通の危機感を確認する機会となっています。日本を代表する複数企業の人事担当者らが「あたりまえのことができずに離職する者の数が無視できない状況になっている」ことを報告しています。「わからないことを周囲に相談することができない」、「修正不可能な状況に至るまで助けを求めない」、「相手の感情を想像しての言動がとれない」等々、若者の現状は深刻です。危機感を強くした産業界と大学が連携してアクティヴラーニングなどの取組みを始め、企業ではブラザーシスター制度などを導入しながら、OJTでの再教育に必死です。

この状況から、家庭・学校・地域が特に「情」と「意」に関わる部分を教育しきれていないことを責められているように思えてなりません。社会人になっても重要な部分が欠落しており、そのことが若者たちを苦しめ、産業界のみならず社会全体に負の影響を与えています。本校の学校長がよく申し上げていることですが、子どもを真ん中におき、家庭・学校・地域がその周りで同じ目的をもって手を組むことの大切さを再度確認すべき時のようです。グローバリゼーションのうねりの中、国内外問わず見知らぬ人たちとチームを組んで協働的に生きることが求められる難しい時代であるからこそ、人として一番大切な、基本的な部分をきちんと育む責任を共に果たしたいものです。

## 振興会に参加して

教育振興会副会長 小川 真弓

昨年度一年間のつもりで引き受けた副会長を、今年も続けてやらせて頂きました。

まさか、今年も原稿を書く事になるとは…と、戸惑っています。

今年は、振興会として、くれきの祭の出店に加え、校内の整美にも協力していく活動をはじめました。

今年度は、何かと私用がかさなってしまう振興会の活動に参加できずに、皆さんにいろいろご迷惑をおかけしてしまいました。

引き受けたのに、なかなか仕事に取り組みずにはじめましたが、協力して下さる方もたくさんいて助かりました。

これからも、保護者皆で、協力することを忘れずに、さらにパワーアップした振興会を目指して行ってほしいと思います。

振興会の活動に、いつも協力して下さる、校長先生はじめ、諸先生方にも感謝しております。

これからの、筑摩高校、並びに振興会の活躍を期待しています。



## 人のあたたかさ

教育振興会副会長 関 成美

名前だけでいいなら…と軽い気持ちで引き受けた副会長。年度始めの総会に行き初めて「これは大変なものを引き受けてしまったかも」と感じるほどの緊張感漂う雰囲気の中スタートしました。

仕事と子育てでなかなか会議に出ることができずに心苦しい中、高校初の施設委員の立ち上げに副委員長として参加させていただく事に。初めてという事で右も左も分からない状態でしたが、先生方・役員の方々と一緒に物品やお便りの準備、そして当日は暑い中でしたが、たくさんの保護者様、生徒のみなさんに協力していただき、大きなケガもなくスムーズに作業を終わらせ、とてもきれいにすることが出来ました。今回の作業から出た反省をもとに次につなげていってくれたらと思います。

この一年での活動は施設委員会立ち上げにしか力を入れることが出来ませんでした。役を引き受けなければ先生方や保護者の方と授業などの事以外でお話する機会はそうそうなかっただろうし、皆様の優しさを感じることもなかったのではないのでしょうか。

こういった経験をさせて頂ける機会を与えてくださった会長さん、それから一緒に協力して下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



書道・マンガ・イラスト部 くれき野祭展示



## 焼きそば

教育振興会理事 藤澤 昭文

今年の屋台の焼きそばは、大雨の中で始まりました。風が強くなり、場所の移動もあり準備が遅れがちになりましたが、役員の皆と先生方のご協力により、思いの外早く準備が整いました。

そばを焼き始めると去年の経験があった為か、役員のお気持ちにも余裕があり、無駄な動きも少なく予定の220食も、わずかな時間で作り上げる事が出来ました。

それは、ひとりひとりが自分の持っている力を、出し合い、同じ方向を見て、気持ちを合わせる事で出来たのだと思います。

この事は本年度初めての試みとして行った校内整美の時にも感じました。参加された皆様にご協力をお願いして、御礼申し上げます。有難うございます。お蔭様で学校の周りの木々もだいぶ美しく整いました。

出来る事でしたら、引き続き来年も校内整美に皆様のお力をお貸し下さい。



## 初めての整備作業

教育振興会評議員 上川 実千代

昨年度の役員会の折、保護者の方より、「お世話になっている学校に感謝の気持ちを込めて保護者と生徒と一緒に窓拭きなどの作業をしたらどうか」との提案があり、今年度の総会で施設委員会を立ち上げる事が承認されました。

鳥羽会長より委員長を引き受けて頂けないかとお話を頂き「関副会長と一緒に進めてもらうから大丈夫ですよ」との言葉に、一人ではないから大丈夫!! と委員長を引き受ける事にしました。

何をどう進めて行ったらいいのか戸惑いながら関副会長・担当の先生方と連絡を取り合い、作業を提案してくれたKさんも加わって準備を進め、8月22日初めての整備作業が行われました。

校内をキレイにし、生徒達が良い環境の中で学校生活を送れる様にとの思いで、作業を行いました。

今年度は校舎南側の植木剪定とつるとり、昇降口の窓拭きを行い、伸びきっていた植木がキレイに剪定され、昇降口のガラスがピカピカになりました。

バドミントン部の生徒が練習後、お手伝いに駆けつけてくれるという嬉しい出来事も。

普段はなかなか会えない保護者同士が笑顔で作業する姿もみられました。

皆様のお力添えで初めての作業が無事終了しました。ありがとうございました。



## 最後の文化祭

夜間部 生徒会長 野島 ノブスケ

4年生になって、顧問の先生に指導してもらいながら生徒会の仕事をして、皆さんに楽しんでもらえるような文化祭になったと思います。やりたかった焼き鳥販売もできて良かったです。当日は大雨が降っていましたが、午前中に売り切ることができて良かったです。

ところで私が筑摩高校の夜間部に入学して驚いたことがあります。新入生のクラスの人数が10人ずつの2クラスだったことです。私が入学した平成24年度は全体で80名いた生徒が、今では40余名余りです。だからこそ、全生徒が力を合わせて行なう行事が大切だと思います。

文化祭当日は、先ほどの焼き鳥が忙しくて、午前・午後、通信制の作品を見に行けなかったけれど、午前中に焼き鳥を売ることができたので、午後には午前・午後部の音楽の発表を聞きに行きました。夜間部はその日にかたつけがあるので、すぐに戻って、今年は最後の文化祭だと思いながらかたつけをしていました。そして、嬉しいことがありました。焼き鳥が売れた利益は子ども病院に寄付しました。みなさん協力してくれて有り難うございました。

## 生活体験発表「ありがとう」

通信制 1年 村上 麻友里

今、私はとても充実していると胸を張って言えます。私には、2人の娘がいます。今になって高校卒

業の資格を取ろうと思ったのも、他ならない子ども達のためです。

初めは子ども達のために決めた高校生活。今は子ども達のためが1番ではありますが、周りで応援して支えてくれている人たちのためにも必ず卒業の資格を取りたいと、また頑張る理由が見つかりました。もっとも頑張るといっても、私にはそのような感覚はありません。

私の中でも頑張るとは無理をするという意味合いが強いからです。今は、無理をせずに毎日とても楽しく笑いながら生活をしています。

勉強もこの歳だからこそ、楽しいものであるのだと思います。数学なんて昔は数字を見るのも嫌でしたが、今は問題が解けた時は楽しく、とても満足した気持ちになります。

そんな私の生活を支えてくれている周り人たちへの感謝は尽きません。

冒頭で今とても充実していると述べました。その充実の裏にはいろいろな人の支え、応援があるからだ、今この原稿を書きながら痛感しています。

支えてもらっている分を返しているか、いつ返せるか、なんてわかりませんが、私は今精一杯自分のできることをやろうと思います。それが支えている人達に伝えられる「ありがとう」の第1歩になると思うから。



## 本年度生活体験発表大会結果

### ① 中信高等学校 定時制通信制生徒生活体験発表大会 9月17日(木) 塩尻市文化会館レザンホール

午前部	津田 静奈	優良賞
	「過去の自分と現在の自分」	
夜間部	久保田 紫	優良賞
	「これからの学校生活」	
通信制	村上 麻友里	最優秀
	「ありがとう」	
夜間部	杓名 亨大	優良賞
	「濃い高校生活」	
通信制	松村 美由姫	優良賞
	「For the Future」	

### ② 長野県高等学校 定通制生徒生活体験発表大会 10月24日(土) 小諸市市民交流センター

通信制	村上 麻友里	審査員特別賞
	「ありがとう」	

### ③ 中部地区 高等学校通信制生徒生活体験発表大会 9月26日(土) 岐阜県高山市

通信制	井上 恵	優良賞
	「そして今」	

## 4年間バスケット部をしてみても

主将 石田 彪雅

私がバスケット部に入部してから、今年はとてもいい経験ができた貴重な一年間でした。

1年生から3年生では、県大会で3連敗をし、三年間、涙をながし悔しい思いをしてきました。四年目の私にとっての最後の県大会で、優勝することができました。日頃の練習を大会で、100%と発揮でき、部員も緊張せずにプレーをできた結果だと思います。

全国大会にバスケット部が出場するのは10年ぶりくらいだとききました。東京体育館はとても広く、雰囲気がちがいが飲まれてしまっていました。1回戦目では、練習での力が発揮できずに苦戦しましたが、ギリギリ勝つことができました。2回戦目では、一回戦目での疲れもあり、負けてしまいました。結果はベスト16位でした。

日頃の努力の積み重ねが、全国大会につながったと思います。このような機会を与えていただき大変感謝しています。これからも努力を惜しまずに、頑張っていきたいです。



## 3年間で得たもの

剣道部 梅村 真菜

剣道部は今年も多くの大会に出場しました。その中で一番記憶に残っているものは、秋の北信越大会です。私は、夏の全国大会で2位になった選手と戦いました。メンタルの弱い私は、「絶対負ける。無理だ。」とっていました。そんな時、部員に「大丈夫だよ。頑張ってきた。」と言われ、「本当に勝ちたいな。」と思いました。

試合が終わってチームのもとへ行くと、部員たちは涙を流していました。本気で戦うことは、見

ている人たちや相手にも、審判にも何かが伝わるのが分かりました。

もう一つ分かったことがあります。友達や部員たち、家族、先生たち、私の周りにいる全ての人たちが、「頑張れ」と応援してくれたから、全国2位の選手に勝てたのだと思います。応援してくれる人たちの大切さが分かりました。

3年間、松本筑摩高校の剣道部員であり、二木先生と剣道ができて幸せでした。ありがとうございました。



## 1年間を振り返って

バドミントン部 早川 丞

振り返ってまず思い出すことは、自分が部長として部を引っ張ってきたことです。部長を引き受けるにあたり、心がけたことは2つあります。「みんなが楽しく部活ができる。」「部活に来られる雰囲気を作る。」です。バドミントンは個人競技と言われていますが、チームとしてのまとまりがあったと思います。

次に印象に残っていることは、県大会や北信越大会、全国大会の試合結果です。県大会の個人戦では1位を勝ち取ることができました。北信越大会では、団体戦で優勝をすることができました。団体戦はダブルス戦2つとシングル戦3つを同時に行います。チームのみんなと一緒に試合をしたことは忘れもしません。応援をし、応援をされながら試合をすることは楽しく、気合いが入りました。全国大会では、団体戦で8位に入ることができました。

また、くれきの祭ではバド部のフランクと振興会の焼きそばが並んで出店でした。一緒に販売ができて、とても楽しかったです。

どの大会、試合も顧問の先生方や関係の先生方、家族のおかげで集中でき、楽しく、結果を残すことができたと思っています。本当にありがとうございました。仲間と活動した日々はとても楽しかったです。

## 平成27年度 定通体育大会結果

### 全国高等学校定時制通信制体育大会

- バスケットボール 東京・東京体育館  
男子 3回戦敗退
- バドミントン 神奈川・小田原アリーナ  
男子団体 (県選抜チーム：早川 丞、西村 勇輝、  
甕 幸則) ベスト8  
男子個人 早川 丞 2回戦敗退  
女子団体 (県選抜チーム：齋藤 晴奈、小林 亜衣)  
3回戦敗退  
女子個人 齋藤 晴奈 2回戦敗退
- 剣 道 東京・日本武道館  
女子団体 (県選抜チーム：梅村 真奈、津田 静奈、  
山口 たか子)  
予選リーグ敗退  
女子個人 梅村 真菜 1回戦敗退  
津田 静奈 2回戦敗退  
山口 たか子 1回戦敗退

### 北信越高等学校定時制通信制総合体育大会

(H27.10.17-18 石川県金沢市)

- バスケットボール  
男子 4位
- バドミントン  
男子団体 (県選抜チーム：早川 丞、西村 勇輝、  
甕 幸則) 1位  
男子個人 早川 丞 2回戦敗退  
女子団体 (県選抜チーム：齋藤 晴奈、小林 亜衣)  
5位  
女子個人 齋藤 晴奈 1回戦敗退  
小林 亜衣 2回戦敗退
- 剣 道  
女子個人 梅村 真菜 2位  
津田 静奈 2回戦敗退  
山口 たか子 1回戦敗退



### 北信越定時制通信制軟式野球大会

(H27.10.18 石川県立球場)

- 本校 2位  
決勝 松本筑摩 5 - 8 新潟県選抜

### 全国高等学校総合体育大会

(H27.7.28-30 大阪府 大阪府立体育館)

- なぎなた競技  
深澤 未幸 (午前部) 予選リーグ敗退

## 平成27年度 文化部活動成果

### 長野県高校写真連フォトコンテスト 入選

「大好きな人のもとへ」

上條 夏々果 (3C)

「見つけた！」

小出 亜由美 (2E)

### 第37回 長野県高等学校芸術展 入選

「人形葬」

佐藤 真美 (2A)

### 軽音楽部長野県フェスティバル

Power Live2015KF

奨励賞 River's

伊藤 良典 (2B) 上條 陸 (2B)

勝山 遼太 (2C) 久保田 凌羽 (2D)

### NAGANO デザインフェスタ2ndエコバックデザイン

佳作 夜間部 久保田 紫 (1A)

(マンガ・イラスト部)



「好きな人のもとへ」  
上條 夏々果 (3年)



「見つけた！」 小出 亜由美 (2年)



「人形葬」 佐藤真美 (2年)

ミニギャラリー  
生徒の作品をあつめて



アルパカ



階段